

## 新事務局紹介「札幌南事務局」



はじめまして！札幌南事務局です。札幌の東西北にも事務局が誕生することを願いつつ札幌市全域とお隣の北広島市を担当しております。事務局としてまだまだ新米ですが、身近な地域にフレンドシップクラブを知って頂く事を、始めの一歩として頑張ります！どうぞ宜しくお願い致します。

〒004-0814

札幌市清田区美しが丘4条7丁目7-12

グループホーム トロロの森 (担当:住友)

TEL:090-9751-8292 FAX:011-886-1043

E-Mail: gh\_toronomori0620@ilac.ocn.ne.jp

認知症フレンドリーアワード  
RUN 伴 2015 受賞☆

認知症フレンドリーを普及する取り組みやサービスに対して贈られる認知症フレンドリーアワードの入賞にRUN 伴が選ばれました。選考理由は、「認知症は特別ではないということが社会に広まることを期待する」とありました。ありがとうございます！NPO 法人オレンジアクト様のHPに掲載中です。

## 日本医療ジャーナリスト協会賞を受賞！



質の高い医学・医療ジャーナリズムを日本に根付かせるために創設された「日本医療ジャーナリスト協会賞」の書籍部門に、当クラブのアドバイザーボードである佐藤雅彦さんの著書『認知症になった私が伝えたいこと』(大月書店)と、当クラブ会員の樋口直美さんの著書『私の脳で起こったこと レビー小体型認知症からの復活』(ブクマン社)が受賞されました！お二人とも認知症と診断されてからの心境や社会への提言を記され、総評では「認知症になった人にしか書けない経験と工夫、社会へのメッセージが込められている」とありました。おめでとうございます！

## RUN 伴から当事者団体へ贈呈しました

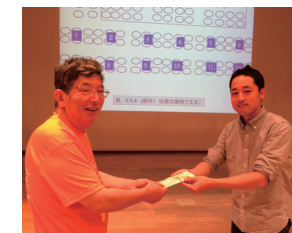


写真:JDWG 共同代表の  
佐藤彦彦さん(左)

RUN 伴 2014 の収支差額の一部(50万円)を、日本認知症ワーキンググループ(JDWG)へ寄付させていただきました。当事者の方が全国から集まる際の旅費として活用される予定です。まちづくり推進の重要なパートナーとして、今後ますますの活動のご発展をお祈りしております。



写真=奈良県生駒市役所でのゴール風景

## 新規フレンドシップスポット紹介

・美容室サンジュ、アウトドアカフェ野菜香房

〒061-3221 北海道 石狩市 緑苑台東1条2丁目7-9

電話:0133-77-8787

営業時間:9時~17時30分 毎週水曜日定休日

http://ameblo.jp/sanju212/

・株式会社 あすか(介護用品の販売及びレンタル)

〒061-1270 北海道 北広島市 大曲 824 番地 55

電話:011-370-3855

営業時間:平日:8時30分~17時30分

土・祝日:9時~15時、定休日:日曜日

http://www.kaigo-recycle.skr.jp

・HairMake miute 美容室ミューテ

〒004-0839 北海道 札幌市 清田区真栄5条2丁目2-26

電話:011-884-3375

営業時間:9時30分~18時 日曜日定休日

http://www.miute.com/

【お願い】会員の方で、住所を変更された方は、新しいご住所の登録を以下のアドレスまでご連絡ください。メールアドレスの変更もご連絡をお願いします！

## ■「D シリーズ 2016」開催！

～ 第3回 全日本認知症ソフトボール大会 ～

主催:Dシリーズ実行委員会

共催:認知症フレンドシップクラブ 富士宮事務局

日時:3月5日(土)、6日(日)

場所:静岡県富士宮市山宮2031

会場:静岡県ソフトボール場

問合せ:望月(dfcc.fujinomiya@gmail.com)

## ■「認知症まちづくりファシリテーター講座」

認知症の課題を入り口に、まちの様々な人々をつなげるための実践講座

日時:2月20日(土)21(日)

会場:東京都内

参加費:4,000円前後(予定)

定員:30名程度

※申込み方法など詳細は、フレンドシップクラブのホームページをご参照ください(12月中旬に詳細を掲載予定です)。

NPO法人 認知症フレンドシップクラブ  
ホームページ: <http://dfc.or.jp>  
E-mail: info@dfc.or.jp  
FAX: 03-4333-0405



## ジブンゴトの意味

認知症フレンドシップクラブ理事長 井出 訓

去る11月1日。北海道の北見から始まったRUN 伴 2015は、無事に九州の大牟田にゴールすることができました。ご参加、ご協力下さいました皆様には、心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

さて、RUN 伴の目的の一つは、誰もが認知症をジブンゴトとして捉えるキッカケ作りですが、この「ジブンゴトとして捉える」とはどのようなことなのでしょう。自分も認知症になる可能性があることの自覚を持つことは、「ジブンゴトとして捉える」ことの重要な要素です。ですが、それ以上の意味がこの言葉には含まれていると考えています。

例えばRUN 伴の目的も同様ですが、私たちは、認知症と生きる人たちが安心して暮らせるために、認知症にやさしいまちを作ろうとしています。一方で、認知症と生きる人たちが「私たちのため」に、認知症に優しいまちを作ろうとしている、とはなかなか考えないのではないのでしょうか。

認知症と生きる人も私たちも、認知症にやさしいまちの実現という同じビジョンを見ているにもかか

わらず、そこに“作る人—作ってもらう人”という、明確な力関係を伴う立場の固定を生じさせてしまっていることが多いと思うのです。

こうした関係性を変えていくには、両者が対立している「認知症にやさしいまちの実現」という課題解決にむけた問題の一つが、自分自身の中にあることに気付くことなのだと思います。つまり、自分自身が力関係に閉じた状況の中で課題に向き合っている、ということへの気づきです。すなわち、認知症の問題の一方は私自身の中にある、ということに気づくことこそが、認知症を「ジブンゴトとして捉える」ということのもう一つの意味なのだと思います。

来年のRUN 伴は、鹿児島を経て沖縄へとタスキを繋ごうと計画しています。多くの人達が認知症をジブンゴトとして捉え、そして多くの地域が認知症にやさしいまちへと変わっていく瞬間を、RUN 伴のゴールのように、皆さんと手を取り合って迎えたいと思っています。来年もぜひ、ご協力をお願いいたします。

## RUN 伴 2015

北見（北海道）～大牟田（福岡）まで 8,000 名と完走！

RUN 伴 2015 は昨年より倍近い大変多くの方々にご参加いただきました。北海道北見市から福岡県大牟田市までの 3,000 km の目標を無事に完走できましたこと、心より感謝申し上げます。認知症に優しいまちを目指して参加者が繋いだタスキは、各地で名前を刻み 26 本もの数になりました。RUN 伴のタスキがまだ届いていない地域や、新しいまちづくりを目指す人々と一緒に繋がられるよう、来年も更に多くの方々と一緒に RUN 伴を楽しめればと思っています。今回は、各地を旅した今年の RUN 伴でうまれたエピソードを3つご紹介します。



【RUN 伴 2015 DATE】  
 エントリー数：7,775 名  
 認知症当事者人数：333 名  
 走行距離：3,000 キロ  
 通過都道府県：31 都道府県  
 開催述べ日数：41 日間



当事者参加の増加

今年もたくさんの認知症の方々に参加いただきました。特に、参加2年目3年目の地域が盛り上がりみせ、認知症の人の活躍を盛り上げようと、地域がオレンジ色に染まる応援が各地で見られました。



地域を越えた連携

大雨被害により中止となった南東北ブロックのメンバーが手渡してタスキをつなぎたいと関東ブロックに駆け付けた際の写真です。RUN 伴をきっかけにした出会いから、地域を越えた仲間としての交流がうまれています。



多くのメディアで発信

左は FM 局に出演した北海道恵庭市の様子。ほか各地でも積極的に RUN 伴を PR しました。今年は一般の雑誌や WEB サイトでも RUN 伴が多数取り上げられ、多くの方に届く形で情報発信されました。

## FILM『RUN TOMORROW』制作中！



RUN 伴に参加する方を通して、認知症と生きる人達の姿を伝えるショートフィルムを制作中です。全国7ヶ所で撮影とインタビューを実施。日本の認知症への取組みとして WEB ページも開設し、世界へ発信されます。来年の完成まで楽しみにお待ち下さい！

## 認知症地域ネットワークフォーラム

認知症フレンドリーコミュニティをめざして！



認知度というキーワードでつながった人達が地域ごとに集う「認知度地域ネットワークフォーラム」。2015 年度は全国9ヶ所で行います。今後の開催地域は下のスケジュールをご確認ください。加えて、来年2月には「認知症まちづくりファシリテーター講座」（裏表紙参照）も開催します。各地のまちづくりが加速するよう、仲間づくりと人材のパワーアップに力を入れていきます。

### ☆☆☆ ネットワークフォーラム・スケジュール ☆☆☆

1月17日（日）：「沖縄」浦添市社会福祉センター 14時10分～16時30分  
 1月30日（土）：「関東」町田市文化交流センター 13時30分～16時  
 2月13日（土）：「北海道」帯広市道新ホール（午後・時間調整中）  
 ほか、「東北、北陸、九州」地区で開催計画中



開催終了したフォーラムの写真  
 真上段左：関西・姫路フォーラム、上段右：中部・田貫湖フォーラム、下段：中国・山ロフォーラム

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

※本事業は日本財団の助成を受けて行なわれています

## つながりの場づくり

当事者・地域住民・行政と一緒に模索（東京・町田市）

新オレンジプランでは 2018 年度までに、全ての自治体で認知症カフェを実施することが定められていますが、その実施率は 15%（平成 26）、内容や運営方法も手探り状態が続いているのが現状です。そうした中、町田市では、認知症フレンドシップクラブ町田事務局がハブとなり、当事者、地域のグループ、行政、地元企業などが一緒になり、どのような場づくりが必要かを考えるワークショップを連続開催してきました。認知症の人からは、「認知症になっても社会とのつながりを持ち、役に立つ実感を得たい」「仲間を作れる場が欲しい」という声があがっています。地域の商店街やサークル、企業や既存の地域サロンなどとも連携しながら、カフェという言葉に必ずしもとらわれずに、認知症の方が関われる地域貢献活動を増やしたり、気軽に立ち寄れる場を市内に増やしていく計画です。



左：認知症カフェがテーマのワークショップ  
 下：認知症の人を中止にした本人会議の様子



「つながりの場づくり」企画の第一弾

日時：12月23日（水・祝）10～16時

場所：町田市成瀬駅南口「薔薇の塔」前

※商店街で開催される歳末抽選会のお手伝いや清掃を行ないながら、当事者や家族との交流、サポートに関する情報発信を行います

## 事務局だより

新しいテーマから、多様なメンバーが集う機会が増えています！

### 豊中事務局 「認知症の女性がまぶしく輝く日」

エステ、ネイル、アロマセラピーなど、女性を輝かせることの専門家と美容や看護の専門学校生もボランティアで参加し、認知症の女性と一緒にオシャレを楽しみました。美容の専門技術を喜んでいただいていたのは、ご本人はもとより同行した介護するご主人達。自分では出来ないオシャレをする奥さんの姿を我が事のように喜ばれていました。認知症の人を中心に集まった美の専門家達は、いつもとは違う地域の間、そして、普段あまり行かない人達へのメイクなどから、地域に貢献できる手応えを感じられたようです。



### 奈良事務局 「オレンジコンサート」

6月21日、奈良市グリーンホールで行われた第一回のオレンジコンサート。本物の音楽を、認知症の人や家族、そして地域の人と一緒に楽しめる場をめざして開催されました。オペラ歌手の歌声の後に登場したのは、富士宮からやってきた当事者の人が主体となるバンド「歩 ち歩 ち（ぼちぼち）クラブ」の皆さん。認知症の診断後に覚えたギター演奏を披露される方もおられました。『富士の山』などの演奏の後、フレンドシップ事務局や RUN 伴メンバーによる即興コーラスも加わり、迫力ある歌声が響き渡りました。



### あべの・堺・豊中事務局合同「活動報告会」

5月23日、大阪の3事務局合同による活動報告会が行われました。認知症になっても共に歩める仲間との「輪」と「絆」、と題して行なわれた報告では、RUN 伴を活用したまちづくりの事例報告のほか、ご家族から活動に参加したことなどで認知症のご主人の体調が回復し行動的になったこと、自信を取り戻せたことなども発表されました。ご家族からは、認知症の理解を深めてもらえるように当事者の思いを積極的に発信していきたい、という力強い発言もありました。

